

【11月23日 生涯学習とテレビのチカラ全国大会 2024 福島大会】

生涯学習コーディネーター 伊達マリコ

もう6年前の話になる。工作中、突如ギックリ腰になりパートを辞めた。

しかし、ピンチの後には必ずチャンスの種が潜んでいるものだ。仕事を辞めて時間に余裕ができたので、福島市の桜の聖母生涯学習センターに通い始めた。

まずは『シニアのエッセイ講座5回コース』を受講。とても優しい先生で「いつでもいいので、書いたら読ませて下さい」と言って下さり、お言葉に甘えて、毎日1本のエッセイを書き、メールで送った。そうして書いているうちに、「自分の生きがいとは人を元気にする文章を書くこと」だと気付いた。

現在は市民ライターとして、福島県内のイベントや講演会、そして全国的にもちょっと珍しい議会傍聴エッセイなど...参加者にしてインタビューしながら文章を書いている。

さて11月23日、民間放送教育協会【第60回 テレビのチカラ全国大会 2024 福島】が郡山市中央公民館で開催されると知り、張り切って行って来た。

今回開催場所の郡山市は、街づくり研究のために10回程度通っている。郡山市議会も傍聴をし、品川市長ともお話したことがある。街全体が活気があり、行く度に新しい気づきがある。

当日の中央公民館は、関係者の方々も含めると約500人。13年前の東日本大震災。原発事故からの復興に向かう福島県の姿を皆んなに観てもらいたい、という思いが強く感じられるものだった。

ハワイアンズダンスチームの華やかな「ポリネシアンショー」。そして、郡山高校合唱団の美しい歌声。一番前の席に座っていた私は感動し、涙が流れた。

カンニング竹山さんの【「ピンチをチャンスに」被災地から考える真の復興とは何か】という興味深い題のトークセッションは、福島への温かい思いが伝わってくる話、最近亡くなった西田敏行さんとの思い出も語ってくれた。

さて次に竹山さんへの質問タイム。熱烈な竹山ファンの男性が、嬉しすぎて話が止まらない。そこで、テレビで見るあのキレキャラを披露して会場が沸いた。

私も思い切って手を挙げた。「伊達市から来ました。伊達市は全国的に知名度が低いです。伊達市の良いところを教えてください」

竹山さんは「伊達市にある道の駅霊山の釜飯は絶品!!」と言ってくれ、これまた会場で拍手がおこった。

私はそこで、一度だけ伊達どりの親子丼を食べたことはある。美味しいアイス屋さんとパン屋もある人気の道の駅だ。後日、友人2人が釜飯を食べに行ったら「お店の人が、釜飯がいつもより注文が入り不思議がっていた」「釜飯は注文してから20分かかる。おこげのところが美味しかったよ」と教えてくれた。私も近いうち、伊達どりの釜飯を食べに行きたいと思う。

帰宅後、頂いた資料を読んでいたら、【君たちと見たもの～全盲先生…魂の記録～】があった。ヨシノリ先生のことは、以前テレビで紹介されており、今回録画して観た。

ヨシノリ先生の人生を、丸ごとみせてくれる内容だった。「魂に正直に生きている先生らしい人間の強さと弱さを教えてくれた」という感想が載っていたが、まさにそれだと思った。

民教協からのお知らせで「学校教育・生涯学習に番組DVDの貸し出しをご活用ください」とあった。そういったこともしているのか、と初めて知った。内容の深い、素晴らしい番組を是非多くの人に観てもらい、それを元に考え、語り合って欲しい。

来年の大会は、大分県で開催されるそうだ。福島県から大分県は遠いなー。それでも、人間は何か大きなきっかけがあれば、どんなに遠くてもヒョイっと行けるものだ。ピンチの時ほど人間の可能性は広がるもの。私はそう信じて生きている。